

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
未払配当金の支払い、 支払明細発行のお問い合 わせ先・郵便物送付先※1	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座に記録された株式に 関する各種お手続きのお問い 合わせ先・郵便物送付先※2	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-288-324 (通話料無料)
公告掲載方法	電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない 事由によって電子公告による公告をすることができない 場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
公告掲載アドレス	http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6724/6724.html

※1 住所氏名変更・配当金振込先指定(変更)等の事務手続きについては、お取引の証券会社等にお問い合わせの上、所定の変更届等を提出してください。
 ※2 特別口座にて管理されている単元未満株式(100株未満)の買取りの際には、買取請求書を上記「みずほ信託銀行株式会社 証券代行部」にご請求の上、同行にて所定の手続きを行ってください。

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5
TEL: 0266-52-3131 (代表)

<http://www.epson.jp>

CONTENTS

経営理念・連結財務ハイライト	p.1
ごあいさつ	p.2
当中間期の連結業績について	p.3

**独創のコア技術による
新たなお客様価値のご提供** p.5

カラリオ・プリンター
Colorio PF-70 **エプソンのスマートチャージ**

小さめ!カンタン!
スモールファンプリンター

導入コスト0円
月々1万円からの
新プリントサービス



特集
新商品のご紹介

高精度センシング技術で人々の「生活の質向上」に貢献
脈拍計測でなりたいたい自分に

WristableGPS **PULSENSE**

社会貢献活動	p.8
連結決算の概要	p.9
会社情報 / 株式情報	p.10
株主メモ	裏表紙

セイコーエプソン株式会社

2015年3月期
中間株主通信

2014年4月1日～2014年9月30日



連結財務ハイライト

経営理念

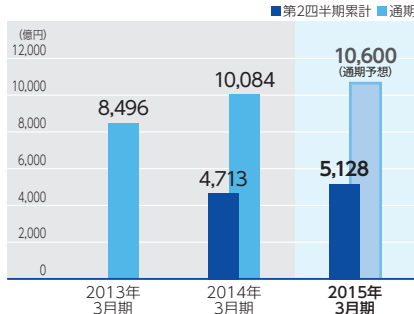
お客様を大切に、地球を友に、
個性を尊重し、総合力を発揮して
世界の人々に信頼され、社会とともに発展する
開かれた会社でありたい。
そして社員が自信を持ち、
常に創造し挑戦していることを誇りとしたい。

EXCEED YOUR VISION

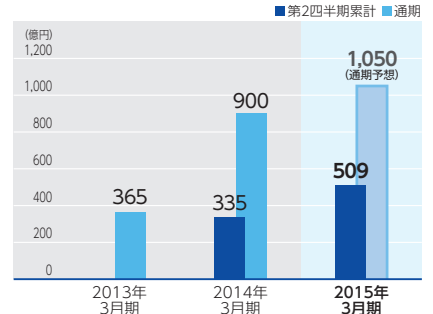
私たちエプソン社員は、
常に自らの常識やビジョンを超えて挑戦し、
お客様に驚きや感動をもたらす
成果を生み出します。



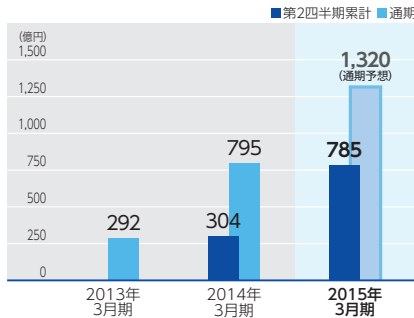
売上収益



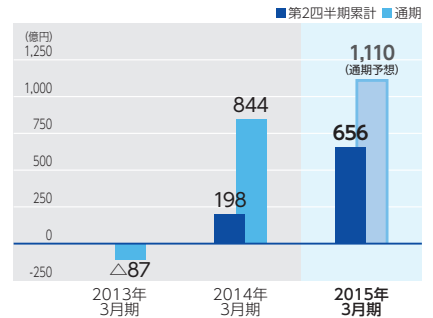
事業利益



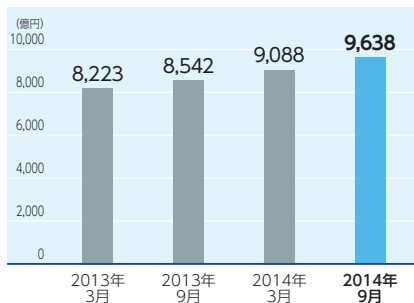
営業利益



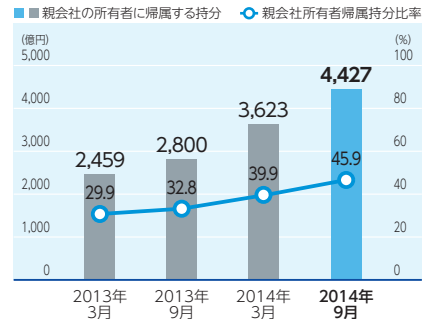
当期(四半期)利益(△損失)



資産合計



親会社の所有者に帰属する持分 親会社所有者帰属持分比率



(注) 1. 2014年3月期に係る連結財務諸表から、国際会計基準(IFRS)を任意適用しています(移行日:2012年4月1日)。
2. 2015年3月期通期の売上収益および各利益は、2014年10月31日公表の予想金額です。
3. 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しており、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念です。

本文中、セイコーエプソン株式会社につきましては「当社」、エプソングループ(当社および当社の関係会社)については「エプソン」と記載しています。

ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2015年3月期中間株主通信をお届けするにあたり、謹んでごあいさつ申し上げます。

当中間期(2014年4月～9月)の取り組みおよび業績の概要について

エプソンは、「SE15後期 新中期経営計画」に基づき、既存の事業領域においては商品構成の見直しとビジネスモデルの転換を、新規事業領域においては積極的な市場開拓を行い、再び力強く成長することを目指した基礎を築くための取り組みを進めています。この基本戦略のもと、当中間期の業績伸長を牽引した新興国市場向け大容量インクタンクシステム搭載インクジェットプリンターの売上拡大に取り組むとともに、新ジャンルの小型プリンターの販売やオフィスでの印刷コスト削減を実現する新プリントサービスを開始しました。このほか、商業用プリンターの商品ラインアップの拡充や教育市場向けの液晶プロジェクターの売上拡大などにも取り組み、着実に収益基盤の強化を図ることができました。

また、メガネのように装着して気軽に大画面映像を鑑賞することができるスマートグラスや、高精度センシング技術を活用したゴルフスイング解析システム、脈拍計測機能付き活動量計など、エプソン独自のコア技術を活用したさまざまなウェアラブル商品による新規事業領域開拓の取り組みも着実に進めることができました(これらの新商品・サービスの詳細につきましては、特集ページをご覧ください)。

以上の結果、売上収益は5,128億円、事業利益は509億円、また、営業利益は本年4月に実施した確定給付企業年金制度改定による費用削減効果も加わり785億円となり、前年同期を大幅に上回りました。これらにより、四半期利益は656億円となりました。

株主のみなさまへの利益還元について

当社は、経営の効率性および収益性のさらなる改善を図ることにより、キャッシュ・フローの向上に努め、安定した配当を継続することを基本としています。そのうえで、中長期的に連結配当性向30%を継続的に実現することを目標として、株主のみなさまへの利益還元を行う所存です。

中間配当につきましては、期初に定めた戦略に基づき、着実に成果をあげることができたことから、従来予想どおり1株当たり35円とさせていただきます。

引き続き新中期経営計画で定めた戦略の方向性を堅持しつつ、各事業における事業構造の転換に向けた取り組みを着実に実施することにより、株主のみなさまのご期待に応えてまいります。

今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月



代表取締役社長

碓井 稔

売上収益：5,128 億円（前年同期比 8.8% ▲） | 事業利益：509 億円（前年同期比 51.7% ▲）

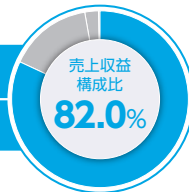
事業セグメント別の概況および業績の主な変動要因

（注）セグメント利益（事業利益）は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

情報関連機器事業セグメント

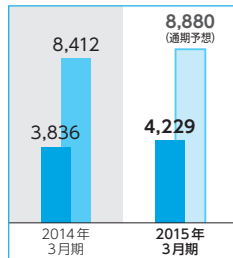
売上収益 4,229 億円（前年同期比 10.3% 増）

セグメント利益 677 億円（前年同期比 59.0% 増）



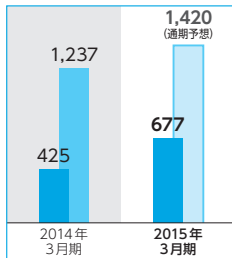
売上収益

■ 第2四半期累計 ■ 通期（単位：億円）



セグメント利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期（単位：億円）



■ プリンティングシステム事業

インクジェットプリンター、ページプリンター、カラーイメージスキャナー、商用インクジェットプリンター、シリアルインパクトドットマトリクスプリンター (SIDM)、POSシステム関連製品、インクジェットラベルプリンターおよびこれらの消耗品など

■ ビジュアルコミュニケーション事業

液晶プロジェクター、液晶プロジェクター用高温ポリシリコンTFT液晶パネル、ラベルプリンター、スマートグラスなど

■ その他

PC など

主な商品



カラリオ・プリンター
[EP-807AW]



モバイルインクジェットプリンター
[PX-S05B]



カラリオ ミー
宛名達人
[E-850]



昇華転写プリンター
[SC-F6000]



シリアルインパクト
ドットマトリクスプリンター
[VP-D1300]



ビジネスプロジェクター
[EB-1985WU]



3D対応フルHD
ホームプロジェクター
[EH-TW6600W]



スマートグラス
MOVERIO
[BT-200]

プリンティングシステム事業の売上収益は増加

- インクジェットプリンターは、本体についてはインクカートリッジモデルが数量減少となったものの、大容量インクタンクモデルの数量増加、平均販売単価の上昇などにより売上増加。また、消耗品についても、稼働台数の構成改善効果により売上増加。さらには、為替による増収影響も加わり、全体として売上増加。
- 大判インクジェットプリンターは、亜州を中心とした数量増加および為替による増収影響により売上増加。
- ページプリンターは、消耗品の数量減少により売上減少。

- SIDMは、為替による増収影響があった一方で、徴税需要が一巡した中国に加え、米州・欧州などで数量減少となったことから売上減少。
- POSシステム関連製品は、欧州を中心とした数量増加および為替による増収影響により売上増加。

ビジュアルコミュニケーション事業の売上収益は増加

- ビジネス向け液晶プロジェクターは、亜州・米州を中心とした数量増加および為替による増収影響により売上増加。
- ホームシアター向け液晶プロジェクターも、主要全市場における数量増加により売上増加。

デバイス精密機器事業セグメント

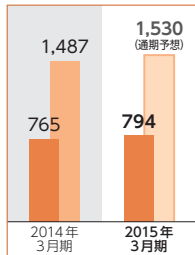
売上収益 **794** 億円 (前年同期比 3.8% 増)

セグメント利益 **71** 億円 (前年同期比 13.2% 減)



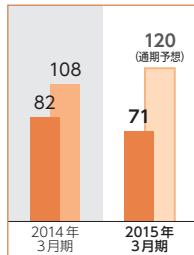
売上収益

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 億円)



セグメント利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 億円)



主な商品



GPSソーラーウォッチ
「セイコー アストロ」



© Moomin Characters™
EPD Wrist Wear
「Smart Canvas」

■ マイクロデバイス事業

水晶デバイス(水晶振動子、水晶発振器、水晶センサーなど)
半導体(CMOS LSIなど)

■ プレジジョンプロダクツ事業

時計(ウォッチ、ウォッチムーブメントなど)
金属粉末
表面処理加工

マイクロデバイス事業の売上収益は増加

- 水晶デバイスは、ATおよび音叉型の価格下落が進行したことから売上減少。
- 半導体は、内需およびシリコンファブドリーを含む外販向けの数量増加により売上増加。

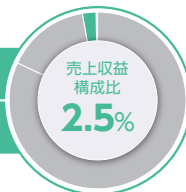
プレジジョンプロダクツ事業の売上収益は増加

- ウォッチの高価格品の数量増加による平均販売単価の上昇効果や、為替による増収影響などにより売上増加。

センサー産業機器事業セグメント

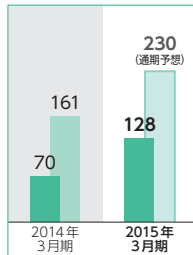
売上収益 **128** 億円 (前年同期比 82.7% 増)

セグメント利益 **△40** 億円 (前年同期は47億円のセグメント損失)



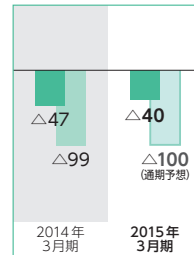
売上収益

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 億円)



セグメント利益(△損失)

■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位: 億円)



主な商品



ゴルフスイング
解析システム
「M-Tracer For Golf」



振動計
「M-A550AR」

*新規事業として新商品の開発や市場開拓などに注力しており、先行的な投資や費用が発生しているため、セグメント損失を計上しています。

■ センサー産業機器事業

産業用ロボット、ICハンドラー、産業用インク
ジェット印刷機、センシングシステム機器など

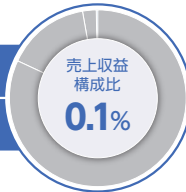
センサー産業機器事業セグメントの売上収益は増加

- 産業用ロボットは、亜州向けの受注増により売上増加。
- ICハンドラーも、スマートフォン向け半導体業界からの受注増により売上増加。

その他

売上収益 **6** 億円 (前年同期比 12.1% 増)

セグメント利益 **△1** 億円 (前年同期は1億円のセグメント損失)



■ グループ向けサービス業など

3～4ページに掲載している

● 売上収益構成比は、2014年4月～9月のセグメント間収益を含めて算出しています。

● 2015年3月期通期の売上収益およびセグメント損失は、2014年10月31日公表の予想金額です。



独創のコア技術に 新たなお客様価値のご

エプソンは、「省・小・精の技術」を基盤とした3つのコア技術（マイクロピエゾ・マイクロディスプレイ・センシング）を極め、「プリンティング」、「ビジュアルコミュニケーション」、「生活の質向上」、「ものづくり革新」という4つの領域で、お客様の期待を超える商品・サービスを生み出していきます。

カラリオ・プリンター

Colorio PF-70

小さめ! カンタン! スモールファンプリンター

家庭用プリンターの新たな価値としてお客様から高いご評価をいただいている“小さめ”カラリオ。今年度は、もっと小さめなコンパクトカラリオが加わりました。



縦置きできるので、本棚のちょっとしたスペースにも置けます。

手のひら
サイズの
コンパクト!

シールやラベル印刷がいろいろ楽しい!

写真はもちろん、シールやラベルづくりも楽しめます。はがきや封筒、名刺、文書、WebページもプリントOK。毎日楽しくなる新たなジャンルの商品です。



お名前シール



宛名シール



多目的シール



デコレーションシール

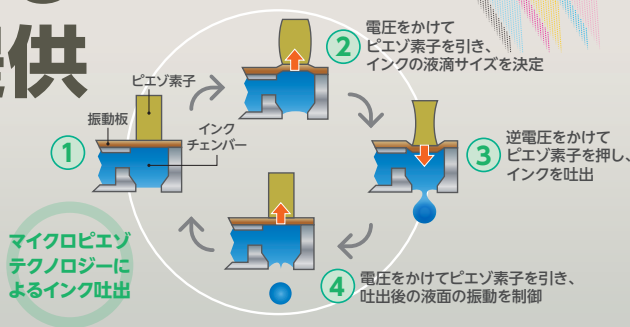


インクジェットプリンターのコア技術 「マイクロピエゾテクノロジー」

電圧を加えることで変形するピエゾ素子の機械的な動きによってインクを吐出するマイクロピエゾテクノロジー。インクの量を自在にコントロールし、正確な位置に必要な量だけ吐出することで、粒状感のほとんどない美しい画像表現が可能です。

また、インクに熱を加えないため、さまざまな種類のインクを使用することができるので、写真、書類、看板、捺染、産業用ラベルなど幅広い用途への展開が可能になります。オフィス向けプリンターには、マーカーなどにもにじみにくい全色顔料インクを採用しています。

よる 提供



エプソンのスマートチャージ

導入コスト0円^{*1} 月々1万円^{*2} (税別) からの 新プリントサービス

マイクロピエゾテクノロジーの持つ特長を、オフィスプリンターに際立たせた、新しいプリントサービス「エプソンのスマートチャージ」の提供を開始しました。



^{*1} 搬入・設置をご希望される場合は、別途料金がかかります。 ^{*2} スタンダードB・フルカラーBプランの場合。 ^{*3} ご契約期間中は、対象機器をエプソンから貸与します。 ^{*4} 通常保守時間外・休日の保守サービスなどをご希望される場合は、別途料金がかかります。通常保守対応時間：月曜日～金曜日(祝日除く)9:00～17:30 ^{*5} エプソンの評価条件による値です。CO₂排出量算出

6つの「スマート」

エプソンのスマートチャージと高速 & 高画質のビジネスインクジェットプリンターが、ランニングコストを下げ、業務効率を上げ、オフィスのプリント環境を変えます。



スマートな導入

機器購入やリース契約などの導入コスト^{*1}は不要。



スマートなコスト

月々1万円^{*2} (税別) からの基本使用料でご利用いただけます。



スマートな管理

機器の利用^{*3}・インク・保守サービス^{*4}がオールインワンになったサービス。



スマートなプリント

スマホやタブレットからもプリント可能。



スマートなエコ

印刷に必要な消耗品は、当社カラーページ複合機に比べCO₂排出量を95%低減^{*5}。



スマートなカラー

スタンダードBプランはカラープリント600枚込みでカラープリントも気兼ねなく使えます。

値：スマートチャージモデル 3.81kg、LP-M5300FZ 80.39kg。ライフサイクルアセスメント手法により、消耗品のライフサイクル(素材・素材加工・輸送・および使用済み消耗品の廃棄・リサイクル)のすべての地球温暖化負荷をCO₂排出量として算出しています。リサイクルによる効果がある場合は素材より削減しています。エプソンのスマートチャージ機器用インクの印刷可能枚数を75,000枚として、LP-M5300FZで同数印刷する場合の消耗品(トナーカートリッジ、感光体)とで比較しています。CO₂排出量はお客様のプリンターの使用状況により異なります。 *契約期間は5年間となります。途中解約の場合は、解約金が発生します。

高精度センシング技術で人々の「生活の質向上」に貢献

エプソンは、半導体技術、水晶デバイス技術などの強みを融合し、産業分野でも利用できるほどの高精度センシングデバイスを自社開発しています。

これらのデバイスにより、身体の内部や動作、外部環境などを計測し、そこから得られた情報を適切にフィードバックすることで、人々の「生活の質向上」に貢献できるウェアラブル商品をお届けしていきます。

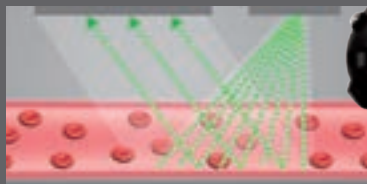


For
Running

WristableGPS

「WristableGPS」は、走行距離やペースなどを正確に計測することが可能なGPS機能付きランニングウォッチです。新商品「SF-810シリーズ」は、GPS機能に加え、ランニング時の高速走行時にも正確な脈拍計測を可能にした高精度脈拍センサーを搭載しました。胸ベルト（ハートレートモニター）を装着することなく、脈拍計測が可能となり、手軽に心拍トレーニングを行うことができます。

脈拍計測の仕組み



センサーからLED光を皮膚内の血管に照射。血中のヘモグロビンが光を吸収するという性質を利用し、ヘモグロビンに吸収されずに戻ってくる光量の変化で脈拍を計測します。



For
Life

PULSENSE

腕に装着するだけで、脈拍や活動量を計測し、運動強度や、睡眠・こころの状態を知ることができる脈拍計測機能付き活動量計「PULSENSE」。

加速度センサーと脈拍センサーにより、「体の動き」に加えて、脈拍を通じて「体の負荷」を計測しているため、より正確な活動量を算出。専用アプリケーションにより、1日の消費カロリー、睡眠、こころバランスなど、脈拍と活動量から得られたさまざまな記録を振り返ることができます。

PULSENSE 専用アプリ「PULSENSE View」



1日の活動をバランスメーターで分かりやすく表示できます。

社会貢献活動

エプソンは、経営理念に謳う「世界の人々に信頼され、社会とともに発展する開かれた会社でありたい」の言葉を受け、世界各地でそれぞれの地域社会に根ざした活動を通して、社会との共生を進めています。

ここでは、エプソンの海外子会社における活動をご紹介します。

フィリピンにある販売現地法人Epson Philippines Corporationは、2014年6月にケソン市の子供病院で開催された“愛のポートレート”というチャリティーイベントに協力しました。

当地の写真家、ピラルール・トゥアソン氏とKythe財団(※)が共同で行ったこのイベントは、子供たちや家族の撮影をし、エプソンの写真画質対応の大容量インクタンクシステム搭載インクジェットプリンター L800で印刷した写真をプレゼントするというものです。イベントでは、手品や人形芝居などの演芸会や、フィリピンのサッカークラブによる講習会も開催され、そこで楽しむ子供たちの様子も撮影されました。

1歳から13歳の子供たちとその親、医師やボランティアなど150名が参加したこのイベントで、子供たちは素晴らしい



イベントに参加し、
笑顔を見せる子供
たち

笑顔を見せていました。

この活動を始めた理由をトゥアソン氏は、「ちょっと、日常を変えてあげたかったのです。子供たちは、大きなパーティーのようなイベントに参加できて楽しんでいるし、毎週金曜日に病室にこもって治療を待っている親たちにとっても、いい休息の時間になっています。」と話していました。

※ Kythe財団とは、がんや慢性病で入院している子供たちの生活の質を改善することを目的とする非営利、非株式組織です。この団体は1992年に設立され、8,000名を超えるがんや慢性病の子供たちとその家族に、心理社会的なサポートを行っています。



01



02



04



03

01. 入院している子供たちとその親、医師やボランティアなど150名が参加
02. トゥアソン氏による撮影の様子
03. 大容量インクタンクシステム搭載インクジェットプリンター L800で写真を印刷する様子
04. フィリピンのサッカークラブ選手との記念撮影

連結決算の概要

四半期連結財政状態計算書の要旨

(単位: 億円)

科目	2014年3月期 連結会計年度末 (2014年3月31日現在)	2015年3月期 第2四半期連結会計期間末 (2014年9月30日現在)
資産		
流動資産	5,606	6,124
非流動資産	3,482	3,514
資産合計	9,088	9,638
負債		
流動負債	3,360	3,771
非流動負債	2,080	1,414
負債合計	5,441	5,185
資本		
資本金	532	532
資本剰余金	843	843
自己株式	△204	△204
その他の資本の構成要素	497	638
利益剰余金	1,955	2,618
親会社の所有者に帰属する持分合計	3,623	4,427
非支配持分	23	25
資本合計	3,647	4,453
負債及び資本合計	9,088	9,638

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
2. △はマイナスを示しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位: 億円)

科目	2014年3月期 第2四半期連結累計期間 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	2015年3月期 第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	375	392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208	△240
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110	△190
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	46	67
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	104	29
現金及び現金同等物の期首残高	1,846	2,115
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,950	2,144

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
2. △はマイナスを示しています。

四半期連結包括利益計算書の要旨

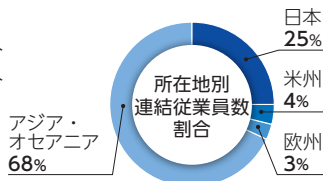
(単位: 億円)

科目	2014年3月期 第2四半期連結累計期間 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	2015年3月期 第2四半期連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)
売上収益	4,713	5,128
売上原価	△3,123	△3,252
売上総利益	1,590	1,875
販売費及び一般管理費	△1,254	△1,366
その他の営業収益	35	327
その他の営業費用	△67	△50
営業利益	304	785
金融収益	13	29
金融費用	△22	△10
持分法による投資利益	0	1
税引前四半期利益	295	806
法人所得税費用	△74	△146
継続事業からの四半期利益	220	659
非継続事業からの四半期損失	△21	△2
四半期利益	198	656
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目合計	59	86
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	97	130
税引後その他の包括利益合計	156	216
四半期包括利益合計	355	873
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	198	655
非支配持分	0	0
四半期利益	198	656
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	354	870
非支配持分	1	2
四半期包括利益合計	355	873
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	110.93	366.63
継続事業に関する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	123.11	368.04
非継続事業に関する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期損失 (円)	△12.19	△1.41

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。
2. △はマイナスを示しています。

会社概要

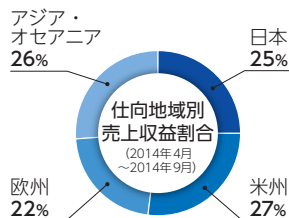
商号	セイコーエプソン株式会社 (SEIKO EPSON CORPORATION)
創立	1942年5月18日
本社	〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 TEL: 0266-52-3131 (代表)
本店	〒163-0811 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号新宿NSビル TEL: 03-3348-8531 (代表)
資本金	532億4百万円
従業員数	連結: 72,021 人 単体: 11,940 人



グループ会社 94社 (当社含む国内21社、海外73社)

国内関係会社

エプソン販売株式会社
エプソンダイレクト株式会社
オリエント時計株式会社
東北エプソン株式会社
秋田エプソン株式会社
エプソンアトミックス株式会社
他 14社



海外関係会社

Epson America, Inc.
Epson Europe B.V.
Epson (China) Co., Ltd.
Epson Singapore Pte. Ltd.
Epson Engineering (Shenzhen) Ltd.
Singapore Epson Industrial Pte. Ltd.
P.T. Indonesia Epson Industry
Epson Precision (Philippines), Inc. 他 65社

役員

取締役および監査役		業務執行役員	
取締役社長 (代表取締役)	碓井 稔	業務執行役員常務	John Lang 羽片 忠明
専務取締役 (代表取締役)	濱 典幸	業務執行役員	小池 清文 遠藤 鋼一 北松 康和 島田 英輝 北村 政幸 深石 明宏 村田 すなお 森山 佳行 高畑 俊哉 北原 強 佐伯 直幸
常務取締役	井上 茂樹		
取締役	福島 米春 久保田 孝一 奥村 資紀 渡辺 潤一 川名 政幸 青木 利晴 ^{※1} 大宮 英明 ^{※1}		
常勤監査役	久保田 健二 平野 精一		
監査役	山本 恵朗 ^{※2} 宮原 賢次 ^{※2} 奈良 道博 ^{※2}		

※1 社外取締役
※2 社外監査役

株式の状況

発行可能株式総数	607,458,368 株
発行済株式総数	199,817,389 株
株主の総数	28,011 人

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三光起業株式会社	11,447	6.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,464	5.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,735	5.44
セイコーホールディングス株式会社	7,948	4.44
服部 靖夫	5,966	3.33

(注) 1. 当社は自己株式 20,927 千株を所有していますが、上記の大株主の状況から除外しています。
2. 持株数は、千株未満を切り捨てています。
3. 持株比率は、自己株式を控除して計算し、小数点以下第3位を切り捨てています。